



ヨーク大学スタッフから商学部生への手紙



Dear Students,

I would like to invite you to study with us at the University of York. York is one of the top ten universities in the UK and in the top 100 worldwide and has an excellent reputation for teaching and research.

The university is situated on a picturesque lake-side campus not far from the historic city centre of York. It is a beautiful and safe city with easy access to London and Edinburgh.

Our programmes will help you to develop your English language skills and your intercultural awareness. They will also help you to develop your business communication skills and provide an introduction to management so they will also be useful for your future.

We look forward to welcoming you to York soon!



2026年度 関西大学 商学部 海外ビジネス英語プログラム

BestA 2026

応募や参加費用等について、詳しくは実施要項をご覧ください。4月と5月に説明会を実施する予定です。説明会の開催日時は、商学部ホームページやインフォメーションシステム、学内掲示板でお知らせします。

【お問い合わせ先】
関西大学 教務センター
 〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

TEL.06-6368-1121(代)
http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_com/besta/



関西大学

2026年度 関西大学 商学部 海外ビジネス英語プログラム

BestA 2026

[Business English Study Abroad] (通称: ベスタ)

英語でビジネスを学ぶ EAMプログラムが、ますます充実!!

商学部独自のプログラム

●4週間コース



BestA

商学部では、学生の英語力強化の一環として、イギリスでビジネス英語を学ぶというプログラム(BestA、通称「ベスタ」)を、ヨーク大学(The University of York)と提携して実施します。関西大学では、国際部が中心となって海外語学セミナーを実施していますが、このプログラムはビジネス英語に特化した「商学部独自」のプログラムです。ここで修得した単位は、卒業に必要な商学部専門教育科目の一つとして認定されます。

特徴

- 特徴は、短い滞在期間であるものの、英語のみの環境で多様なビジネスプログラムが用意されることです。主なプログラムとして、ビジネス・ケーススタディでは、実際の企業の成功と失敗をマーケティングミックス、そしてSWOT分析などの概念を使って分析します。そして、ビジネスプロジェクトでは、少人数で編成されたグループが、ヨークのビジネス現場やヨーク近郊の観光スポットを選択・調査し、別の市場でどのように機能するかについてのビジネスプランを作成し、プレゼンテーションで発表します。本コース修了時にはビジネス英語力が驚くほど向上したことが分かります。

どんなプログラムなのか?

夏休みの約1ヶ月間

- イギリスの古都ヨークに滞在
- 学寮で過ごす
- ビジネスを英語で学ぶ
- ビジネス・プランを英語で議論する
- プレゼンテーション・スキルを学ぶ
- イギリス有数の小売企業の博物館を見学する
- ヨーク近郊の観光スポットを英語で紹介する
- ヨーク市のビジネスが日本市場で展開可能かを議論する

どんな所で学ぶのか?

ヨーク市での学びと生活

- イギリスの建物・町並み・景色、とくに古都ヨークの風情は素晴らしい
- 昔の英国がそのまま残っている街
- 安全で清潔で青空が美しい街
- 歴史を感じさせる見どころがいっぱい
- バイキング時代は英国史の中心の一つ
- 現在は鉄道とチョコレートと観光の街
- ヨーク市近郊の歴史的スポットを探索

ヨーク市は、そのままハリウッドの世界にいるような、素敵な街です。学校への通学時間も、素敵な散策のひとときに変わります。時には、フラカカフェに立ち寄り、フレンドリーな地元人のイギリス人とコミュニケーションを取ってみるのも楽しいですよ。

現地の方々と話す機会を増やした結果、たくさんのネイティブと友達になり、一緒に外出できるくらいまで話せるようになりました。そなたたちの会話を通して、それまでは知らなかったイギリスの文化や日本の価値観の違いなどを肌で知ることができたのは、非常に素晴らしい経験でした。



ヨーク大学での学び

単に教室で一方向的な講義を受けるだけではありません。たとえば、学生が授業の一環として、グループを形成してヨークの街に出向いて実際の企業の経営やマーケティングについて調べ、日本市場へのビジネス展開について考えた内容を英語でプレゼンテーションするというような、実践的な経営を英語で学ぶことができる授業が多くあります。



Business English

どんな人向きか?

このプログラムが求めている人

- 外国の文化やビジネスに興味がある人
- 英語力を伸ばそうと本気で考えている人
- BLSIPに挑戦しようと考えている人
- 英語力をビジネスに活かしたいという人
- 将来、商社や外資系企業で働きたい人
- 外国人と自信を持って英語で話したり、交流できるようになりたいと本気で考えている人

授業では本格的にビジネス英語を学びます。短期だからといって遊び半分ではなく本気で英語力を伸ばしたい方におすすめです。授業だけでなくヨーク市の文化や日本人とイギリス人の先生との価値観の違いも現地で体感でき非常に貴重な経験になりました。

イギリスは紅茶が有名でおしゃれな街並みを体感できます。その体感をどこまで広げるかは自分次第です。休みの日は基本自由に過ごせるため、好奇心と行動力を持ってイギリスの文化に触れてみることをオススメします。

授業は、英語をゼロから学びたい方よりも、現地で既存の英語力をさらに磨きたい方におすすめです。受験英語は得意でも、日本では発音を周囲に聞かれるのをためらってしまう方には特に向いています。先生が丁寧に教えてくれるため、安心して学べます。

要するに **本気** の人



本パンフレットの内容は、2026年2月現在のものです。諸事情により、内容を予告なく変更することがあります。

Study Abroad

教室を飛び出し世界で学ぶ！ ビジネス英語プログラム 「BestA」の魅力語る 座談会

北部イングランドを代表する名門・ヨーク大学で、世界中から集まる学生たちと共に英語でビジネスを学ぶ——。関西大学商学部の留学プログラム「BestA」は、教室を飛び出して行う初の冒険です。グローバルビジネスの最先端に触れ、現地学生との協働プロジェクトやフィールドワークを通じ、多様性への理解と対応力を磨きながら、教科書だけでは得られない実践的な学びを体験します。2025年夏に参加した後藤優季さん、北田幸さん、安田凌空さんが、朴泰勲先生と沈沈都先生の司会のもと、異文化での学びを通じて得た気づきと成長、「海外での学びは楽しい!」という等身大の体験を語ってくれました。



BestAに参加したきっかけと不安

沈先生：「BestA」に応募したきっかけと、参加前に不安だったことを教えてください。
後藤さん：2回生のときに予定していた1学期間のBestAプログラムが中止になり、代わりに別の認定留学に行きました。4回生になってやはりBestAに参加したい気持ちが強くなり、今回参加しました。ただ、参加者の多くが2回生だったため、4回生の自分が馴染めるか、一緒に行動できるか不安でした。でも、留学前に数回のオリエンテーションがあり、渡航前から少しずつ仲良くなれたので、まったくの杞憂でした。プログラムが始まってからも、授業やプロジェクトに取り組む中で自然と絆は深まります。

北田さん：1回生の時も参加を考えたのですが、入学直後で環境が変わったことや、留学への参加自体が初めての大きなイベントだったため、勇気が出ず見送りました。2回生になり、心に余裕ができたタイミングで「新たなチャレンジをしたい」と思い、思い切って応募しました。応募後に一番不安だったのは、自分の英語力です。受験英語は好きでしたが、「話す」機会が少なく、現地で通用するか心配でした。
安田さん：中学校の頃から英語に興味があり、高校1年生の時にオーストラリアのホームステイに申し込んだ際、スピーキングの面接で言葉が出ず不合格になった悔しい経験があります。そのため、「BestA」というプログラムの存在自体が関西大学を選んだ大きな理由

BestA Group Discussion

沈(シム)先生【司会】 北田 幸さん 後藤 優季さん 安田 凌空さん 朴(ハク)先生【司会】



です。参加前は生活環境や治安、物価、ルールなど、日本との違いに不安がありました。

実際に参加してみて辛かったこと

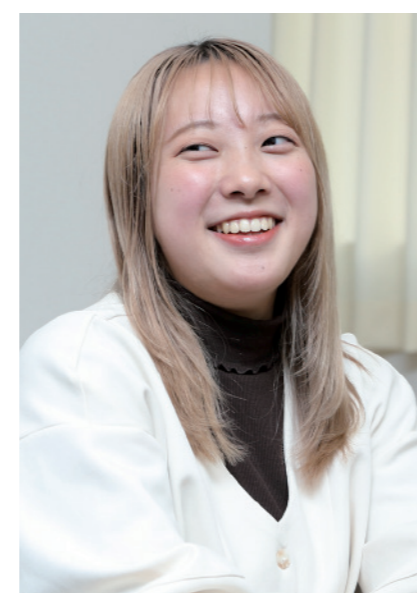
沈先生：現地の生活で辛かったことはありましたか？

安田さん：ヨークに行った際、同じ英語でも地域によってアクセントや発音、話す速さが大きく違うことに驚きました。旅行で各地を回る中で、人々の生活環境も地域ごとに異なるので、土地ごとのルールに合わせるのが大変でした。アジア人差別や物乞いがあったりするなど、現地で戸惑うこともありました。メンバー同士でお互いに助け合うこともできます。困った時は一人で抱え込まないことが大事だと思います。もちろん、日本が好きだという方にもたくさん出会えました。

後藤さん：私も買い物には苦労しました。直通バスがないため、スーパーには遠回りをしてないと行けません。到着後に、まず現地で生活するために必要なものを揃えることから大変でした。スーパーや生活用品店への買い出しに慣れるのに時間がかかりました。また、日本と比べて閉店時間が早いので、授業が終わったらいつも急いで買い物に行っていました。

一番楽しかったこと

沈先生：では、「BestA」に参加が一番楽しかったことはなんですか？



安田さん：鉄道でロンドンへ行き、トラファルガー広場、タワーブリッジなど観光地を巡ったことです。見る場所が多すぎて2泊3日ではたりません。ウィットビー近くの丘に登った際に見た海岸線の広さや港町から広がる景色は、映画「ハリーポッター」のシーンのようでした。

北田さん：日本の講義と違い、先生から質問される回数が多いと感じました。学生一人ひとりに満遍なく質問が投げかけられます。それに英語で答えるのが大変でした。

ヨーク大学での学び

沈先生：次に、ヨーク大学で授業を受けた感想を教えてください。「BestA」を通じてどんな力やスキルが身についたと思いますか？

安田さん：日本の授業とは違い、少人数制でグループワークや発表が多いことに驚きました。また、イギリスでは授業の途中で約30分のコーヒープレイクがあり、休憩中にはコーヒートラックとお菓子が用意されているの印象的でした。

後藤さん：フィールドワークが多いと感じました。最終日には、各グループで選んだ店取材し、その内容をプレゼンしました。日本ではここまで踏み込んだ授業はあまりないと思います。ヨーク大学では課題に対して意見を固め、ペアワークで伝えます。毎日それを行うため、スピーディに意見をまとめて主張するという実践的なビジネススキルが身についたと思います。



北田さん：日本の講義と違い、先生から質問される回数が多いと感じました。学生一人ひとりに満遍なく質問が投げかけられます。それに英語で答えるのが大変でした。

文化の違い

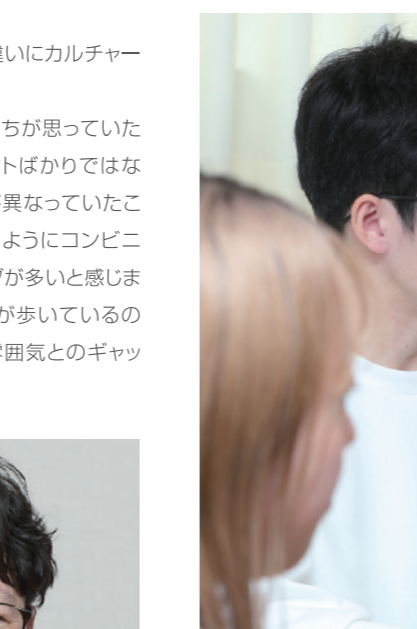
朴先生：日本とイギリスとの違いにカルチャーショックはありましたか？

安田さん：言語面では、私たちが思っていた紳士的なイギリスのアクセントばかりではなく、地方によってアクセントが異なっていたことです。生活面では、日本のようにコンビニがほとんどなく、代わりにパブが多いと感じました。また、大学の周りに牛が歩いているのを見た時も、日本の大学の雰囲気とのギャップを感じました。



北田さん：一番ショックが大きかったのは、エディンバラに行ったときに隣の電車がストライキで急に止まったことです。スタッフがいないからという理由で、突然「降りて」と言われました。最終的には、無事に帰ることはできましたが、しばらく路頭に迷う経験をしました。突然の交通ストライキはよくあるそうで

です。日本の電車は安定して運行されますが、世界では当たり前ではない。スーパーの営業時間も突然変更されることもあります。交通状況や営業時間をこまめに確認したほうが良いと思います。



後藤さん：良い意味で、食に関するカルチャーショックが大きかったです。「イギリス料理は美味しくない」と聞いていましたが、パブで食べた料理は最高でした。また、現地の方が非常に甘いものを好むことです。先生とアフタヌーンティでお茶をした時に、甘いクリームとジャムを塗る量が多く驚きました。

現地での出会い

朴先生：現地でのイギリス人との交流や出会いはありましたか？

安田さん：現地には優しいチューターさんがいて、週末には遠足に連れて行ってもらい、カヌー体験や美味しいパンやお菓子をいただく機会がありました。日常会話を学べる良き機会にもなります。また、ロンドンに向かう途中、たまたま電車で隣に座ったヨーク大学のイギリス人学生に、日本の文化やおすすめ映画、現地のコメディについて教えてもらい



ました。
後藤さん：リーズに一人で出かけた際、現地の方と話す機会がありました。学校内では聞き取りやすいようにゆっくり話してくれたり、わからなければ別の単語に言い換えてくれたりしますが、外で出会う方はそうではありません。普通の話で話される英語でもスムーズに会話できたため、「わたし、できる!」と自信につながりました。

英語に対するマインドは変わった？
沈先生：英語への捉え方や勉強方法などは変わりましたが？

安田さん：英語へのモチベーションがさらに高まりました。いちばんの変化は、英語との「距離感」がぐっと縮まり、身近に感じられるようになったことです。現地の文化に触れたことでイギリスのニュースを見る機会も増え、同時に他の国への関心も高まりました。

北田さん：英語に対する姿勢が変わりました。以前はすぐ翻訳ツールに頼り、楽をして理解しようとしていました。今はまず自分で文章を見て意味を推測し、そのあとで答え合わせを



するという学習方法に変わりました。
後藤さん：留学前はESSなどで英語に触れていましたが、4回生になってからは機会がなく、現地で「思うように話せない」と感じました。この経験から「英語に触れ続けたい」とすまい」という意識が変わり、帰国後は留学生の日本語チューターや英語授業のTA(先生のお手伝い)に自ら応募し、英語を話す場を積極的に作るようになりました。

「BestA」の経験を人生にどう活かす？
沈先生：今回の「BestA」での経験は、今後自分の人生にどのように活かしていきたいですか？

後藤さん：就職活動はすでに終わっており、就職先は海外とは直接関係のない企業に決まりました。ただ、その企業には、将来的に発展途上国へ展開できる可能性を感じて入社を決めました。将来は、その会社で新しいブランドを立ち上げ、海外支社の現地リーダーとして自分を派遣してもらえよう交際したいと考えています。

北田さん：もともと人見知りではありませんが、マインド面はさらに鍛えられたと感じます。積極的にコミュニケーションを取りに行く大切さを学び、以前よりフットワークが軽くなりました。海外での挑戦をやり抜けた自信がつい



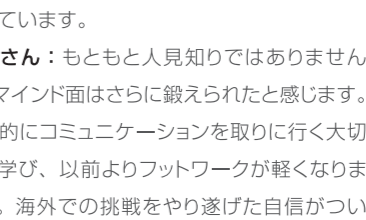
だったので、日本でも新しいことにどんどんチャレンジしていきたいです。
安田さん：英語だけでなく、ビジネス戦略やマーケティング戦略といった専門性を、今後の国際ビジネスや他国への留学などの人生設計に活かしていきたいと考えています。私は英語を通して異文化を学び、人への関心やコミュニケーション能力が高まり、「英語が自分の人格を形作りあげた」と言っても過言ではありません。これからさまざまな国に行き、国際ビジネスに対応できる知識と実践力を身につけていきたいと思っています。

後輩に向けてのアドバイス

沈先生：では、まだ「BestA」に参加していない後輩に向けてアドバイスををお願いします。

北田さん：天候をよく確認し、防寒対策を万全にしておくことです。私が行ったときは例年より寒く、8月でもコートが必要なほどでした。寒さ対策のために、厚手の防寒着を用意しておくの良いと思います。

後藤さん：クレジットカードが海外で使えるか事前に確認しておくべきだと思います。また、クレジットカードが1枚だけだと利用上限に達することもあります。最終的に手元に3,000円しか残らず焦っていた友人もいました。予



備も含めて2〜3枚は準備しておくべきだと思います。カード会社へ連絡すると利用枠を引き上げられるので、渡航前に手続きをしてから行った方が良いです。

安田さん：日本人は他人に話しかけるのを恥しがる傾向がありますが、間違いを恐れず、勇気を出して自分から交流することが非常に大切だと思います。日本の学生はしっかりと英語を勉強しているので、知っている単語を並べるだけでも言いたいことは通じるはずです。英語力の上達だけでなく、文化や生活を知るためにも、積極的にチャレンジしてほしいです。

後輩に向けてのアドバイス

沈先生：では、まだ「BestA」に参加していない後輩に向けてアドバイスををお願いします。

北田さん：天候をよく確認し、防寒対策を万全にしておくことです。私が行ったときは例年より寒く、8月でもコートが必要なほどでした。寒さ対策のために、厚手の防寒着を用意しておくの良いと思います。

後藤さん：クレジットカードが海外で使えるか事前に確認しておくべきだと思います。また、クレジットカードが1枚だけだと利用上限に達することもあります。最終的に手元に3,000円しか残らず焦っていた友人もいました。予



備も含めて2〜3枚は準備しておくべきだと思います。カード会社へ連絡すると利用枠を引き上げられるので、渡航前に手続きをしてから行った方が良いです。

安田さん：日本人は他人に話しかけるのを恥しがる傾向がありますが、間違いを恐れず、勇気を出して自分から交流することが非常に大切だと思います。日本の学生はしっかりと英語を勉強しているので、知っている単語を並べるだけでも言いたいことは通じるはずです。英語力の上達だけでなく、文化や生活を知るためにも、積極的にチャレンジしてほしいです。

沈先生：「BestA」に参加して、英語力やビジネスの知識、コミュニケーション力など、みなさんの成長を大きく感じられました。非常に嬉しい成長です。
朴先生：これから「BestA」への参加を検討している後輩たちにも、現地の様子が伝わったと思います。また、実際に経験したことからの具体的なアドバイスも参考になります。
沈先生：今回の経験を生かし、今後ますますす

す成長されることと思います。本日はありがとうございました。

